

第2回がん相談研究会（平成24年1月26日（土）於：すみだ産業会館サンライズホール）  
ポスター発表 一覧

第1群 13時20分～ 座長 近藤まゆみ（北里大学病院）

- No1 (A) 里山 弘子（熊本県「私のカルテ」がん診療センター）  
熊本県共通のがん診療連携クリティカルパス「私のカルテ」～2年間の運用実績と今後の課題～
- No2 (A) 関根 知嘉子（京都大学医学部附属病院）  
退院支援における『相談支援のプロセス』の意識化
- No3 (A) 及川 良子（公立昭和病院）  
地域連携・相談支援の在り方の一考察～最期まで外来通院と訪問診療で医療を完結された症例を通じて～
- No4 (B) 鈴木 志保子（三重大学医学部附属病院）  
県内がん相談員研修に向けた相談員ニーズ調査報告
- No5 (B) 仁科 直美（信州大学医学部附属病院）  
当センターの電話相談対応における質の均てん化と向上に関する検討 ー相談の質評価表を用いた事例検討会ー
- No6 (C) 藤松 義人（鳥取県立中央病院）  
強い不安を表出する乳がん患者の一例ーがん相談に必要なサイコオンコロジー的視点ー
- No7 (C) 大石 美穂（佐賀県立病院 好生館）  
相談提案を費用対効果として数値化し、院内中枢委員会に理解が得られたことの実践報告

第2群 13時20分～ 座長 渋谷弘子（東京医科大学八王子医療センター）

- No8 (C) 矢野 和美（東京通信病院）  
がん相談支援室で対応した相談内容から見てきた真のニーズ ～第2報～
- No9 (C) 清水 奈緒美（神奈川県立がんセンター）  
がん相談における相談員の視点ー神奈川県がん相談員研修会の成果からー
- No10 (A) 若尾 直子（NPO法人がんフォーラム山梨）  
山梨での「がんピアサポート活動」報告と今後の課題
- No11 (A) 藤森 友章（諏訪赤十字病院）  
諏訪赤十字病院がん相談支援センターにおけるミニがん教室の取り組み
- No12 (A) 山内 瞳（四国がんセンター）  
医療機関の枠を超えた地域全体としての相談支援のあり方
- No13 (B) 八巻 知香子（国立がん研究センター）  
がん相談対応スキル向上のための学習支援方法に関する検討～プログラムの意義と効果～
- No14 (B) 得 みさえ（神奈川県立がんセンター）  
がん相談員教育プログラムを実施した成果 ー神奈川県立がんセンターの場合ー

第3群 13時20分～ 座長 福井里美（首都大学東京）

- No15 (B) 横川 史穂子（長野市民病院）  
長野県相談支援センターがん相談員スキルアップ研修2012の報告
- No16 (B) 坂元 敦子（杏林大学医学部附属病院）  
がん相談員の研修に関する学習ニーズ
- No17 (C) 小郷 祐子（国立がん研究センター）  
医療者からみたがん関連情報の整備状況と相談支援体制の整備に向けての検討
- No18 (C) 品田 雄市（東京医科大学病院）  
がん相談支援場面における面接の重要性-人格適応論を手がかりに-
- No19 (A) 松田 芳美（宮城県立がんセンター）  
他施設に通院しながら再発・転移への不安を訴えるがんサバイバーに対するがん看護専門看護師と臨床心理士の協働
- No20 (A) 坂本 高志（長野市民病院）  
がん相談支援の向上を目指したホスピスとの連携強化の取り組み

(注) (A)は、協働ならびに地域における相談支援センターの活動に関するもの  
(B)は、相談員の研修および教育に関するもの  
(C)は、相談の質に関連するもの

発表者の所属は演題応募当時のものです